

オーストラリアインカムオープン

追加型投信／海外／債券

第60期末（2018年9月18日）	
基準価額	8,401円
純資産総額	12,983百万円
第59期～第60期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-2.6%
分配金合計（*）	200円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

（*）各期の分配金を合計したものです。

第59期（決算日：2018年6月15日）
第60期（決算日：2018年9月18日）

作成対象期間
(2018年3月16日～2018年9月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは豪ドル建て公社債を高位に組み入れた運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

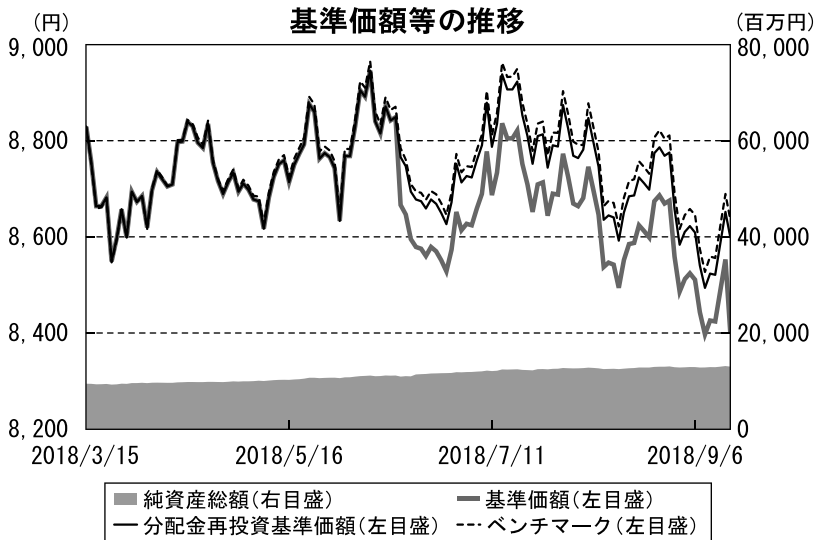
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第59期～第60期：2018/3/16～2018/9/18)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ2.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-2.2%）を0.4%下回りました。



- ・ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の変動要因

上昇要因	豪州債券市況が上昇したこと等は基準価額にプラスに寄与しました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したこと等は基準価額にマイナスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

(2018年3月16日～2018年9月18日)



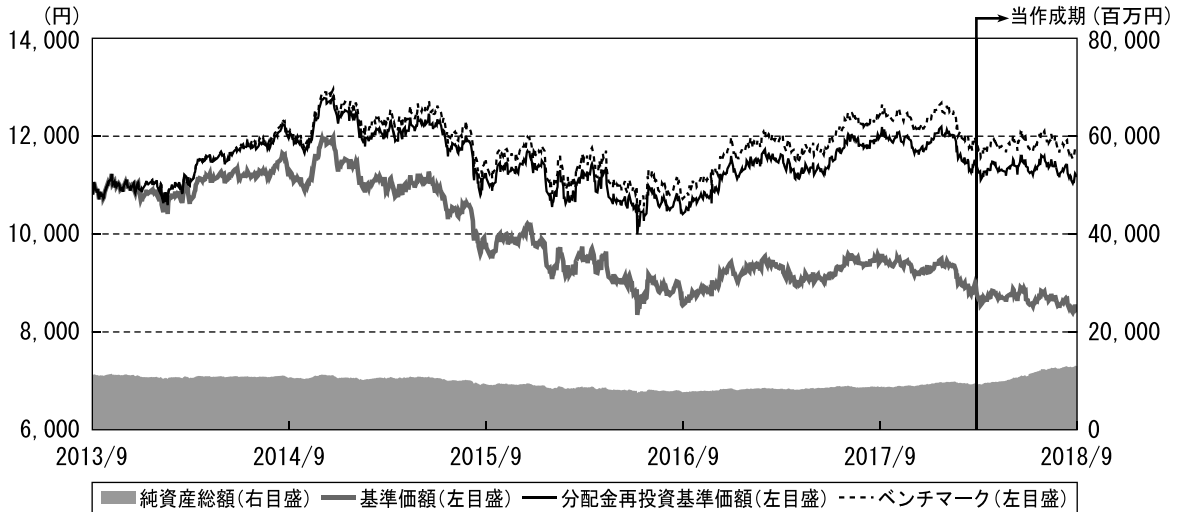
記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項 目	第59期～第60期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 53	% 0.605	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(26)	(0.303)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.275)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.018	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	55	0.625	
作成期中の平均基準価額は、8,680円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年9月17日～2018年9月18日)



- ・ 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2013年9月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/9/17	2014/9/16	2015/9/15	2016/9/15	2017/9/15	2018/9/18
	期初	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額 (円)	10,810	11,183	9,812	8,565	9,408	8,401
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	740	740	560	400	400
分配金再投資基準価額騰落率	—	10.7%	-6.0%	-7.2%	14.6%	-6.6%
ベンチマーク騰落率	—	11.2%	-4.4%	-6.6%	15.4%	-5.8%
純資産総額 (百万円)	11,129	10,583	9,369	7,672	8,728	12,983

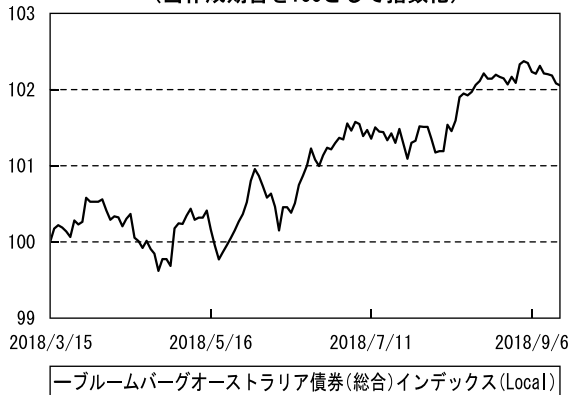
- ・ ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、ブルームバーグオーストラリア債券 (総合) インデックス (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

(第59期～第60期：2018/3/16～2018/9/18)

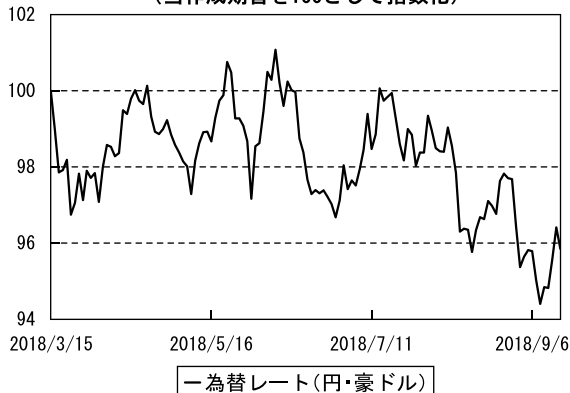
債券市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎債券市況

- ・当作成期首から2018年5月中旬にかけては豪州の堅調な経済指標などを背景に豪州債券利回りは上昇しましたが、5月下旬にイタリアでの政局の不透明感の高まりなどを背景にリスク回避の動きが強まったことなどが影響し、豪州債券利回りは低下に転じました。その後も、8月に豪州連邦準備銀行(RBA)が政策金利を据え置いたことやインフレ見通しを下方修正したことなどが影響し、豪州債券利回りは低下しました。こうした環境下、豪州債券市況は上昇しました。
- ・当作成期を通じて見ると、豪州債券市況は上昇しました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・豪ドルは対円で値動きの荒い展開となりましたが、主に2018年8月以降、トルコ市場の混乱等を背景にリスク回避の動きから円高が進行したことなどが影響し、豪ドルは対円で下落しました。
- ・当作成期を通じて見ると、豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

◎組入比率

- ・ 当作成期を通じて現物債券を高位に組み入れました。また、機動的なデュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等の為に債券先物も一部組み入れました。

◎デュレーション

- ・ 当作成期首はベンチマーク並みの水準としていましたが、2018年4月半ばに金利が上昇した局面でベンチマークに対し長めの水準としました。その後8月半ばにはデュレーションをベンチマーク並みの水準に戻し、期末まで同水準を維持しました。

◎イールドカーブ

- ・ バリュエーションの観点から3～5年ゾーンの債券を選好して運用しました。

◎種別構成

- ・ 債券種別配分については、当作成期を通じて、ベンチマークに対し、国債をアンダーウェイトとする一方、相対的な利回りの高さを享受するため、社債（事業債など）をオーバーウェイトとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

(第59期～第60期：2018/3/16～2018/9/18)

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-2.2%）を0.4%下回りました。
デュレーション戦略、イールドカーブ戦略等がプラスとなったものの、信託報酬等のコストがマイナスに影響したことによるものです。

（プラス要因）

◎デュレーション戦略

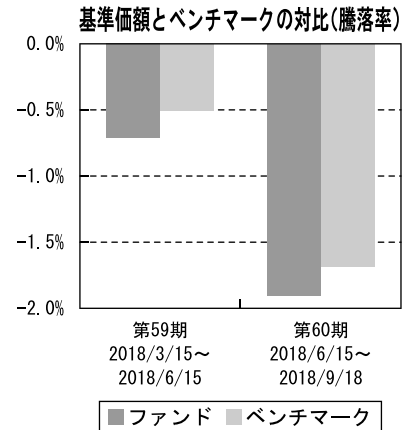
- ・ 当作成期においては、ベンチマーク比でのパフォーマンスはプラスとなりました。

◎イールドカーブ戦略

- ・ 当作成期においては、ベンチマーク比でのパフォーマンスはプラスとなりました。

（マイナス要因）

◎信託報酬等



- ・ ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第59期	第60期
	2018年3月16日～2018年6月15日	2018年6月16日～2018年9月18日
当期分配金	100	100
（対基準価額比率）	1.141%	1.176%
当期の収益	48	46
当期の収益以外	52	53
翌期繰越分配対象額	2,381	2,333

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

◎運用環境の見通し

- ・グローバルでは、米国経済の力強さが際立っていますが、他国の成長率も依然として堅固に推移していると見ています。リスク要因として、世界的な貿易摩擦や地政学的リスクを巡る想定外の動きが市場の変動性を高める可能性があります。
- ・豪州では、雇用情勢も徐々に上向いているものの、インフレ率は依然としてRBAの目標を下回る水準にあり、賃金の伸びは依然弱い状況であると見ています。住宅市場は政策面での効果や銀行融資の引き締めなどを背景に過熱感が後退していると見ています。ここ数ヵ月間の豪州短期金利の上昇により資金調達コストは上昇しており、住宅ローン金利に上昇圧力がかかっています。雇用やインフレの動向次第ではあるものの、RBAは少なくとも2019年半ばまでは現状の金融政策を維持すると予想されます。
- ・社債市場では、豪州市場は他国と比較して相対的に底堅く推移しており、着実な経済成長と緩和的な金融政策が社債市場を下支えすると考えます。ただし、中央銀行による流動性吸収などに注意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

(金利)

- ・現在、デュレーションをベンチマークに対し中立の水準としています。今後も金利水準や市場心理などを考慮しながら、必要に応じて機動的なデュレーション調整を行います。

(種別構成)

- ・社債など非国債セクターの組み入れを高めにして運用します。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組み入れを検討します。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

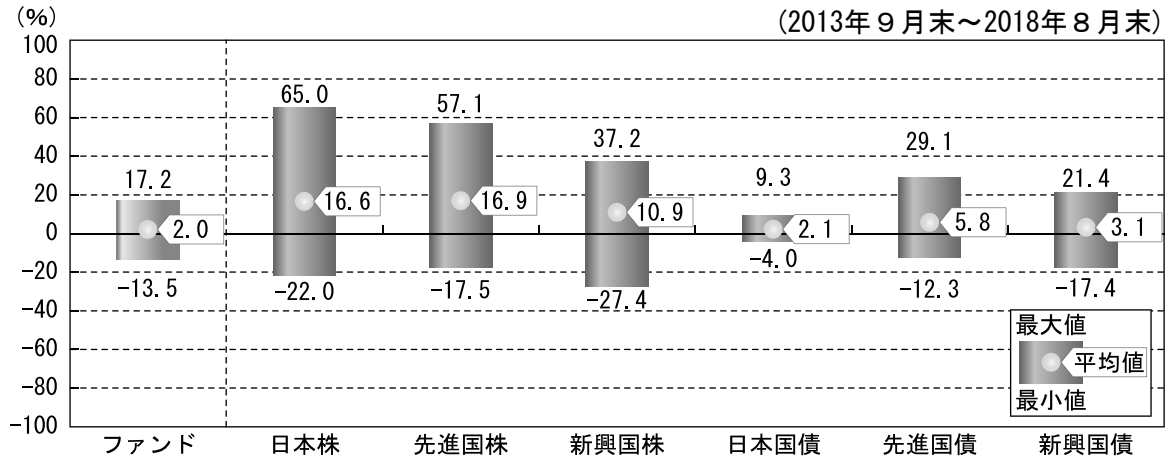
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年9月26日設定）
運用方針	豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券（ABS）、モーゲージ証券（MBS）、国際機関債等に分散投資を行います。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）をベンチマークとします。ポートフォリオの平均格付は原則としてAA-格相当以上を維持することとし、投資する公社債は原則として取得時においてBBB-格相当以上の格付を取得しているものに限り、ポートフォリオの平均デュレーションは原則としてベンチマーク±1年以内の範囲で調整します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、UBSアセット・マネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。
主要投資対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、高格付けの公社債に分散投資することにより、安定した収益および公社債の利子収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年9月から2018年8月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年9月18日現在)

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：104銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	4.25 AUST GOVT 260421	債券	オーストラリア	国債	6.2%
2	2 AUST GOVT 211221	債券	オーストラリア	国債	5.5%
3	7 WEST AUST TREAS 210715	債券	オーストラリア	特殊債	3.8%
4	2.4 KFW 200702	債券	ドイツ	特殊債	3.4%
5	3.25 AUST GOVT 290421	債券	オーストラリア	国債	3.3%
6	2.75 AUST GOVT 281121	債券	オーストラリア	国債	3.1%
7	4.75 AUST GOVT 270421	債券	オーストラリア	国債	2.9%
8	4.25 QUEENSLAND 230721	債券	オーストラリア	特殊債	2.7%
9	3.25 AUST GOVT 250421	債券	オーストラリア	国債	2.1%
10	2.4 EXPORT DEVELO 210607	債券	カナダ	特殊債	1.9%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

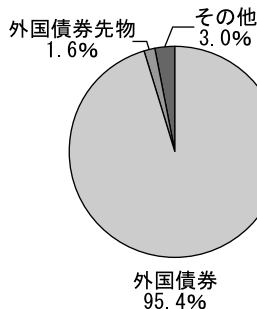
純資産等

項目	第59期末 2018年6月15日	第60期末 2018年9月18日
純資産総額	10,906,452,569円	12,983,457,441円
受益権口数	12,586,039,539口	15,454,642,885口
1万口当たり基準価額	8,666円	8,401円

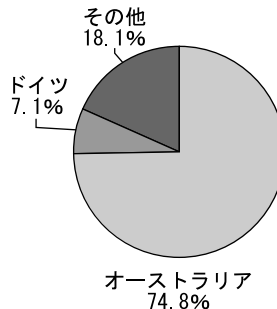
- ・当作成期間中（第59期～第60期）において追加設定元本は 5,668,402,526円
同解約元本は 888,022,479円 です。

種別構成等

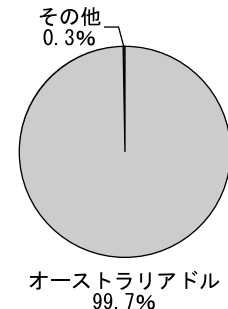
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

○ファンドのベンチマークである『ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）』について

ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、従前、UBSオーストラリア債券インデックスと呼ばれていました。ブルームバーグは、2014年3月に、UBSから、ブルームバーグ・オーストラリア債券指数の一群を取得しました。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）は、三菱UFJ国際投信株式会社（以下、委託会社）の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、委託会社に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提

供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信